

6 モデル退職金について

モデル退職金とは、学校を卒業後直ちに入社し、標準的な昇進を経た従業員の退職一時金及び退職年金の合計額を算出したものである。退職金制度のある事業所のうち、回答のあった 180 事業所のデータをもとに算定した。

(1) 学歴・勤続年数別モデル退職金

モデル退職金を退職事由別にみると、各学歴とも会社都合が自己都合よりも支給総額は高い。会社都合のモデル退職金を 100 とした自己都合との格差は、勤続年数が長くなるにつれて、高等学校卒を除き縮小している。（表 28-1、図 28-1～4）

表28-1 会社都合を 100 とした自己都合退職による退職金の格差

勤続年数(年)	中学卒	高校卒	短大・高専卒	大学卒
5	70.7	75.6	74.5	71.8
10	73.5	80.9	80.3	76.7
20	77.5	87.2	87.4	84.2
30	83.4	80.0	92.2	90.9

図28-1 中学卒モデル退職金

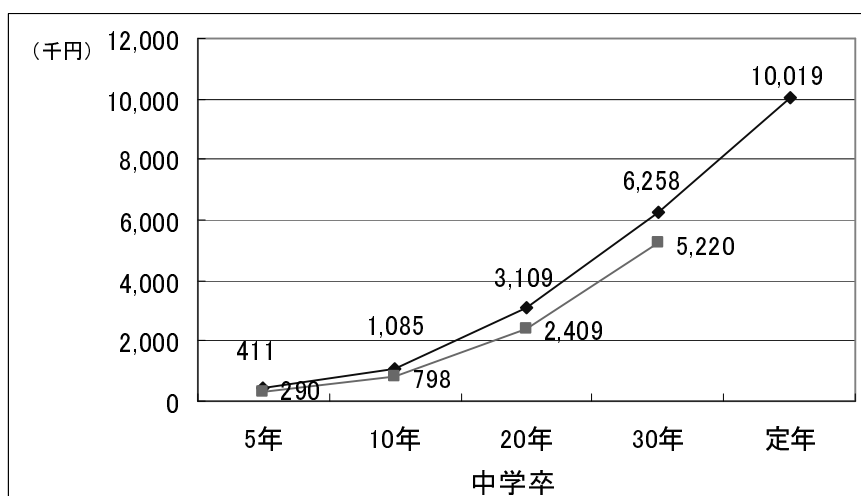


図28-2 高校卒モデル退職金

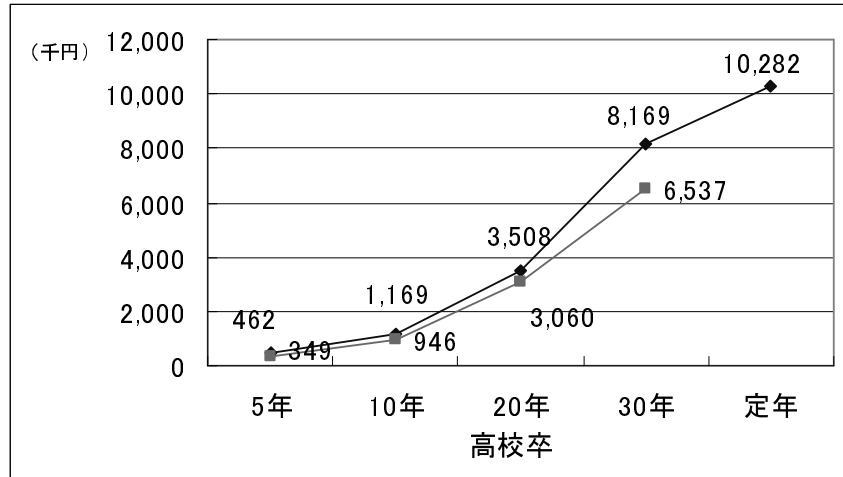


図28-3 短大・高専卒モデル退職金

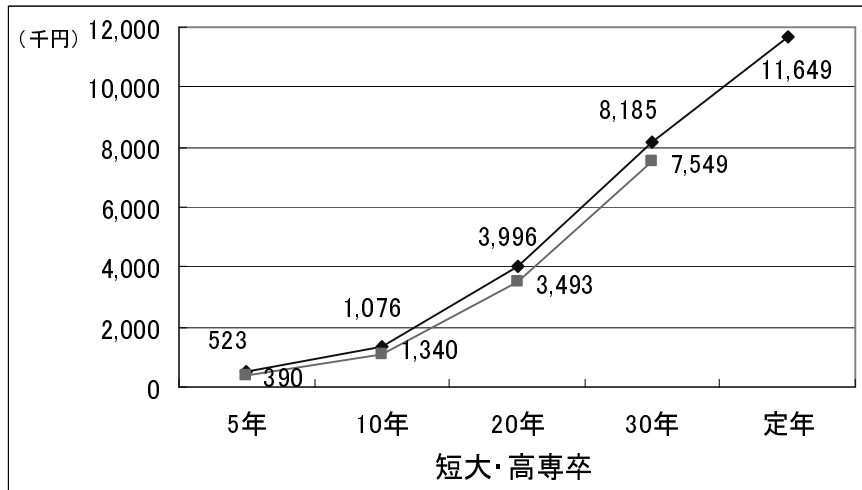
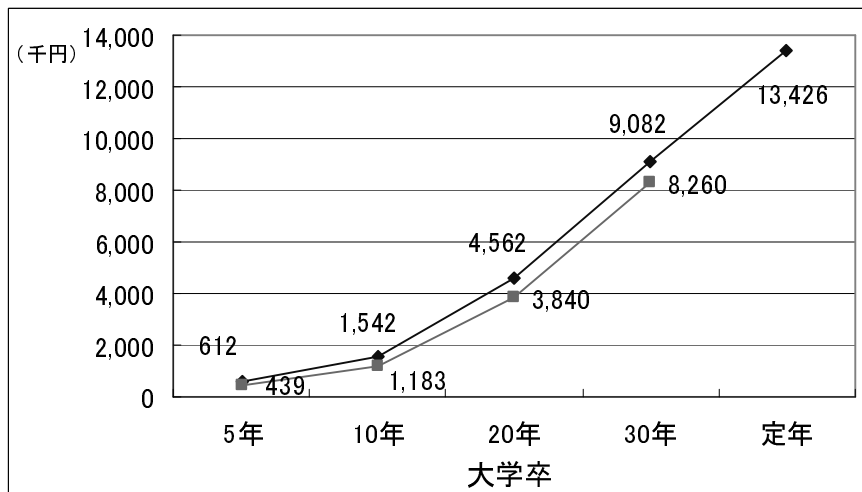


図28-4 大学卒モデル退職金



(2) 定年退職者のモデル退職金

定年退職者のモデル退職金を学歴別にみると、中学卒が最も低く、大学卒が最も高い。また規模別では、どの学歴もおおむね規模が大きくなるほど、支給額は高くなっている。(図28-5、28-6)

図28-5 定年退職者のモデル退職金(学歴別)

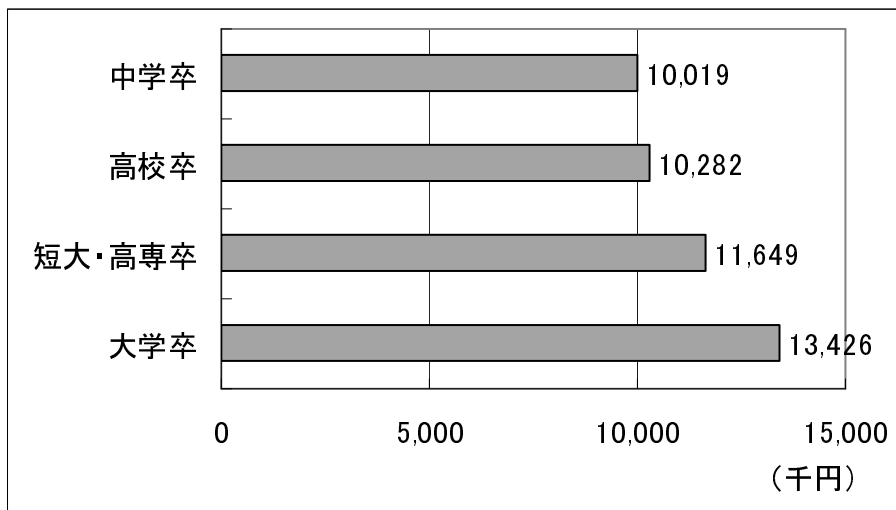


図28-6 定年退職者のモデル退職金(学歴別規模別)

